

マーケットの動き（2026年6月15日～6月18日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。米国とイランの戦闘終結合意を受けて原油先物価格が下落し、インフレ懸念がやや和らいだことで債券が買われました。一方、16日から17日のFOMC（米連邦公開市場委員会）では政策金利が据え置かれたものの、政策金利見通しやFRB（米連邦準備制度理事会）議長の会見を受けて年内利上げ観測が高まり、債券が売られる場面もみられました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2026年6月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内で推移

米国：複数のFRB（米連邦準備制度理事会）高官がインフレに対する警戒的な姿勢を示しており、一部に年内の利上げ観測が広がっています。一方、原油価格高止まりの長期化による景気への影響が懸念されることもあり、長期金利はレンジ内で推移するとみています。

欧州：原油価格の高止まりから、ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が強まっています。一方、原油価格高止まりの長期化による景気への影響が懸念されることもあり、ドイツ長期金利は米国長期金利と同様にレンジ内で推移するとみています。

	6月18日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.45	▲0.02	▲0.15	0.34	0.07
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	688.22	0.38%	2.14%	4.03%	14.70%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

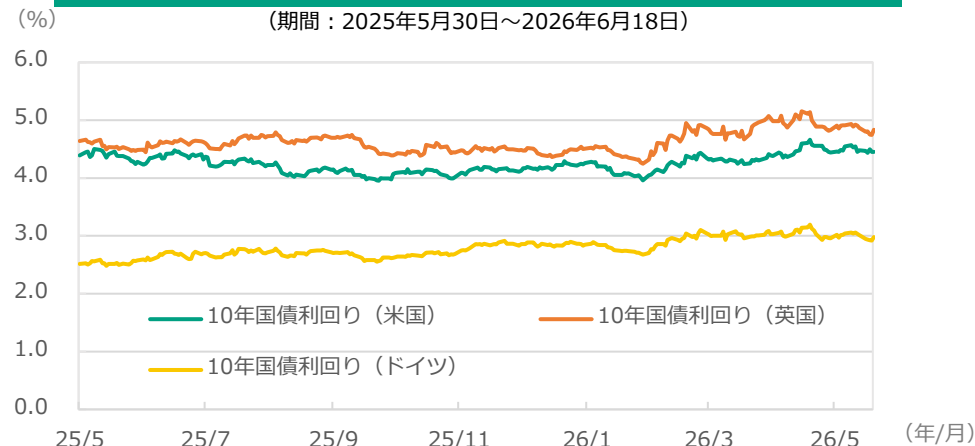
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202606_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2025年5月30日～2026年6月18日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2025年5月30日～2026年6月18日）



※2025年5月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成